

2019年(H31年)

3月

No. 326

(ホムパ・ゾアト・シ) http://hitoha-fukushi.com (メルアド・シ) honbu@hitoha-fukushi.com

ひとはつしゅ



社会福祉法人 ひとは福社会
〒739-1203
広島県安芸高田市向原町長田1857番地
TEL(0826)46-2960 FAX(0826)46-4355

確実に地球変動が起きているという不安に馬区られるように、この冬も暖冬でした。近所の人たちとの立ち話にも「このまま雪が降らんかったら、田んぼの水が配じャのう」という会話が入り混じるようになっていきます。皆さんの地域では如何でしょうか。

先日、重度バ身障がい児者といわれる人たちが生活している施設を訪問し、見学させていただきました。日常的に医療を必要とする人たちですから、感染症その他の類にも万全の配慮がなされており、中には特別支援学校の分級も設置され、教室やベッドで行き届いた授業がなされていました。その上、家族が自由に出入りし、支援の方法等についても職員と意見を交わしていました。

昼食後、入浴のための職員の大半は入浴の支援に入り、残りの人たちは活動室に布団を敷いて寝転がっています。私もその人たちのそばに寝転がり働きかけてみました。すると「やあ、よく来たね」と言わんばかりに笑顔を見せてくれました。そして手や顔を突つきながら、話しかけると実に表情豊かに声も出し笑顔も返してくれます。得難い経験です。

もっと感動したのは、ベッドに寝ている人の支援をしていた初老に近い職員の姿です。ものを言わない寝たままの人と会話をしているのです。そしてその人思いやりながら、背中をさすったり、体位を変えたりしながら会話を続けていました。

ついその職員に声をかけました。すると「いや、私はパートなんです。でもね、この人たちがかわいくてねえ、連れで帰りたいくらいなんです。(は、は、は...)」支援を必要としている人たちが求めている支援者像を見させてもらったんです。わが身を反省させられた訪問となりました。
(理事長 寺尾文尚)

現在のひとはのグループホームは的場邸と西本邸の2ヶ所(共に男性棟)。去年の9月より新築グループホーム(男性棟)が建設されています。完成に際し、担当の高木亮輔さんにインタビューを行いました。

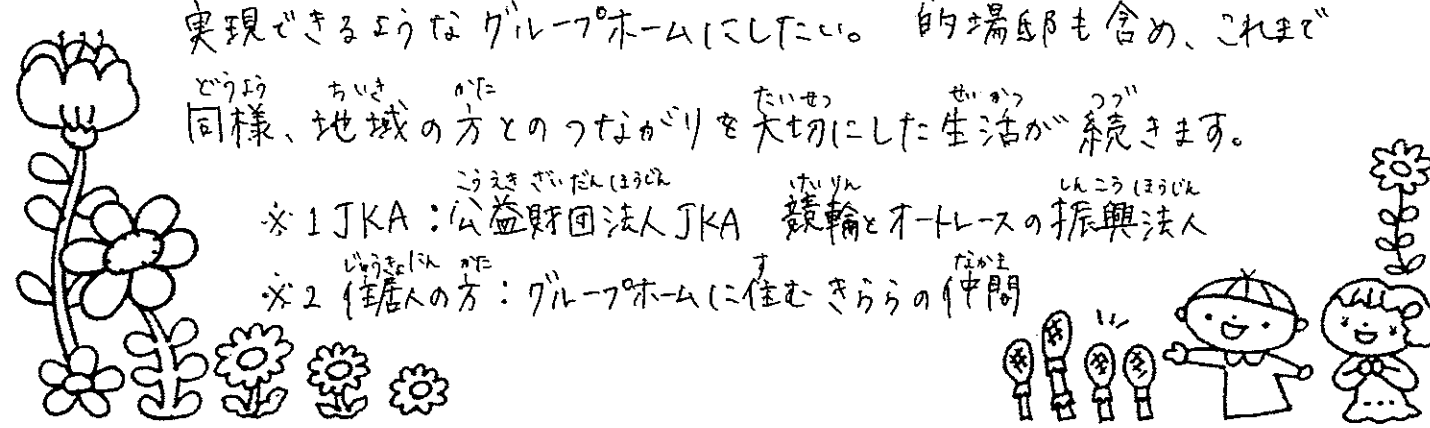
新築グループホームの構想はいつからありましたか？

きららの仲間・家族・共同ホームのスタッフと想いを膨らませ、4年前にある程度のスケッチに。資金づくりのためJKAへ申請を毎年続け、3年越しで助成が決定。ひとは会(家族の会)から資金面での応援もあり、建設に至りました。

これからのグループホームで大切なことは何ですか？

新築の建物内はバリアフリーですが、周辺は線路が近くにあること、坂が急なこと、と課題も。西本邸から引越す住居人の方は不安もありつつ、建物ができあがるにつれて期待も高まっています。住居人の方が想うことを自身で考えて、周りに見かけてもらいたくても実現できるようなグループホームにしたい。的場邸も含め、これまで同様、地域の方とのつながりを大切にした生活が続きます。

- *1 JKA: 公益財団法人JKA 競輪とオートレースの振興法人
- *2 住居人の方: グループホームに住むきららの仲間





「集団遊び」

ひあ・くらぶの毎週金曜日の活動は、集団遊びを行っています。この日は「おーちたおちた♪何かおちた♪」と歌いながら、雷やゲソツ、リンゴの絵を見て、お腹や足を叩いたり、リンゴを受け取った時の動作をする遊びです。子どもたちの反応の速さと正確さにはついていけず、間違っただけで笑ってごまかす、くやしい結果となってしまいました。

子どもたちにとっては遊びの時間ですが、私にとってはとても楽しい脳トレの時間となりました。(ひあ・くらぶ 重原 静香)

「優しさ」

ひとはでの日はアルミ缶潰しの仕事から始まります。アルミ缶潰しの作業をする際、軍手は必需品です。ある日のこと、忙しくて軍手を持っていない時に「軍手が無いわあ〜。」と言ったところ、次の日に三輪さんが軍手を2つ持って来て、一つを私に差し出してくれたのです。ふと当たり前の木衣に私の中でその優しさは心に残るものになりました。見返りを求めない本当の優しさ。ひとはにしていると、そんな優しさをたくさん感じることがができます。

(ひとは作業所 丸井 美智子)

「車大好き♡つっこみは暴走中」

あぶのおかき班所属の香川信幸さん。車が大好きで、車の話題になるととても嬉しそうになります。時々「則川さん、これ見てくださいよ。いいのがありますよ。」と、笑顔で中古車の雑誌を持って来られます。昨年のこの時期、私の車も替り時であったので、香川さんの雑誌も参考にし、夏前ついに購入。7人乗りの黒い車で、あぶで見てもらうと嬉しそうに「いいですね〜」と。ただ、その後「ちよといいですか？僕は思うんですが... 独り者なのに7人乗りを買うのはどうかと思えますよ。」という私の人生への鋭いつっこみが入りました(笑)。

車への気持ちは安全、つっこみは暴走中の香川さんでした。(就労センターあぶ 則川 靖久)

「ワシがチャンピオン!!」

白菊さんは時々思い出しにようにダンスからコマを出してきて回し始める。見てはいないけど、大切なものをダンスに隠すワケがあるよう。チョコなども入っているとか...。いつもの事、一発でカッコ良く回す真剣な顔はめっただに見られたい顔! 私は挑戦するが回らない。へたくそへたくそと言われガッカリ。気分を良くした白菊さんは「イエー! ワシがチャンピオン!!」と叫ぶ。一々ずうチャンピオンが増えればいいな〜と思う。次回は好き嫌いやなく何でも食べられるチャンピオンになってほしい。小さく一口サイズに切ると、少しずう食べられるように!! 一歩前進。

(グループホーム ひとは長屋 西丸 淑子)

「赤松さん、ジャンプする」

赤松さんがセクになって2年がたちました。3年前のスポーツ大会でのこと。車イスの赤松さんを押しトイレに大急ぎ。やっと入れたものの後ろには長い列。急がねば。どうしようと思ったその瞬間、赤松さんの右手が無意識に? ウォレットのスイッチに触れ、下からの水にびしょ濡れして高くジャンプしました。そして自力であつという間にきれいにしてしまいました。この手があったのか。赤松さんは深い顔で、こんなことも知らずなのかという表情です。ちよっぴり悔しかったけれど、これも赤松さんとの1つの思い出です。(ひとは工房 大畠 茂文)

仲間入りしました!!

名前 河野 勝行
所属 くらむぼん

最近、笑った話ありますか??

カーブ観戦に行った時のこと。6回終了はあたりから皆でジェット風船をぶくらませました。ところが、7回表の攻撃が長引いたため、同行の人が疲れて茶番でしもうと、いいこと考えた隣の人も茶番でしまい... あとは想像通り、周りで風船が飛び交うのを見る間もなく必死でぼぼいていました。

編集後記

先日、「ひとは」の由来を見学者の方(=開かれずら、と説明できた)から「私がいまして」もうすぐ新年度がスタートします。

「ひとは」とは、大抵は極端な一枚ずりの葉(=それぞれ)の役割があるように、障子の存在無しにわかかわらず、それぞれの生命の輝きを認め合いたいという原真いと人(=どか)の上に生きたらいいかを叫びたいという活動をしたという意味をかかえて発せられた。改めて振り返り機会となりました。(竹内 宏美)

